

ひと ひと

女と男の情報紙

# 笑がお



## 母の永眠

長く認知症を患っていた母が、永い眠りについた。

娘の顔は忘れてしまったけれど、小さな赤ちゃんのひ孫には「可愛いわ〜」と動かない手を一生懸命伸ばし笑いかけていた母だった。

その母の顔は、まるで、本当に眠っているかのようだった。

「ねえ起きてよ、いつまで寝ているのよ」と声をかけたら、「あら寝過ぎしてしまったわね」と笑っておきてきそうだった。

ほっぺに触れると、まだ暖かく、点滴の影響だろうかいつもよりふっくらしていた。

苦しそうな母を見て、「もう頑張らなくていいからね」と、いっていたのに、なぜかほほを熱いものが流れていく。人が死ぬということは、こういうことなのだと思ひがきしむ。

その顔を見ていたら、昔から口癖だった母の言葉が突然浮かんできた。

「笑顔は、自分も他の人も気持ちよくさせる特効薬なのよ。それもお金のかからない薬。そして誰にでもできること。あなたも仏頂面していないで笑顔でいなさい」というものだ。

そういえば彼女はいつも笑顔だった。

癌と診断され余命4ヶ月と宣告されたときも、「大丈夫よ」と逆に私が励まされる笑顔だった。

たくさんの花でいっぱいになったお棺のなかの母の顔は、花とひとつになって、とてもきれいだった。

その顔に、お世話になった施設の多くのスタッフが涙してくれた。

最後に『これからの人生、できるかぎり、あなたのように笑顔で頑張って生きるから見ていてね』と心の中で誓い別れを告げた。

**みんなが笑顔でいられるために……**

**みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを**

**一緒に考えていきませんか？**

# イキイキ笑顔人

自分らしく  
輝いている人見つけた！



ファイルNo.14: 星座 正俊さん 38歳  
妻と子ども2人の4人家族。越谷市在住。

働く、つながる、支えあう…。  
障がいを持つ人たちの居場所を  
一つずつ増やしています！

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。  
「ひだまり」の所長、星座正俊さんの求心力は、通所するメンバー、その家族、職員、そして多くの支援者をつないでいます。  
「ひだまり」の理解者を日々増やし続けている星座さんに、イキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。

## 就職活動の挫折を経て福祉の世界へ

大学生の頃はジャーナリスト志望でした。

就職活動で目指す出版会社の最終面接で不採用となり、大きな挫折を味わいました。何もする気が起きないまま卒業。

その後、周囲の友人が働き出した姿を見てようやく就職する気になり、目にした求人票が三郷市の福祉会の仕事でした。

最初は何もわからないまま、ただ上司についていくしかありませんでしたが、そのうちどんどん面白くなっていきました。資金集めのコンサートを開催したり、社会法人格を取得したり、さまざまな仕事を通して福祉事業のノウハウを学びました。自分の給料を上げるのも、自ら事業計画を立て資金調達して初めて実現するものと実感。実践した全てがスキルを上げることにつながった気がします。

最低5年間は続けようと思っただけの世界で、瞬間に7年が経ち、「ひだまり」の開設が独立の契機になりました。

## 無認可団体からスタートした「ひだまり」

私が所長を務める「ひだまり」は、精神に障がいを持つ人たちが、日中の生活リズムを作るために通う場として平成16年4月にオープンしました。立ち上げ当初は、「吉川なまずの里福祉会」という無認可団体での運営で、7~8名の通所メンバーと専従者の僕と非常勤職員さん1名での活動でした。

その後、NPO法人を設立し、名称も「NPO法人なまずの里福祉会」となり、より多くのメンバーを受け入れるため、事業も大きくなりました。

立ち上げから7年を経て、現在の通所メンバーの登録は約50人。常勤職員12人と共に、それぞれ活動しています。

取り組む活動も増えました。傘の生地を再利用したリサイクルバックや廃油せっけんなどを作る「ひだまり」、車椅子のメンテナンスや修理、介護用ベッドの清掃・組み立てなどをする「ひだまり M'sファクトリー」、リサイクル品や自主製作品を売る「エコショップひだまり」の3つの事業の他、吉川市から委託を受けて障がいを持つ人の医療・就労・地域生活に関わる相談に応じる支援センター「すずらん」を開設しています。

## アンテナを張って、外とつながる

目指しているのは、障がいを持った人が安心して地域生活が過ごせて、また各々の願いや思いを実現していけるような事業です。これまで試行錯誤をしながら、取り組みを一つずつ増やしてきました。

最初に始めたリサイクルバック製作にはミシンがけの作業がありますが、メンバーの中にはミシンより工具を使った組み立て作業に意欲を見せる男性が多い。

それならと、車椅子や介護用ベッドを扱う新規事業を始めたのです。作業環境の整備だけでなく、作った自主製作品をどう販売するか、車椅子のメンテナンスや修理の仕事をどう営業するかなど、事業を継続しながら発展させることも重要ですから、やりたいこと、やるべきことはどんどん増えますね(笑)。

「ひだまり」のことを知ってもらいながら情報や協力を得るために、地域の自治会や連絡協議会などに積極的に出席しています。アンテナを張って情報をキャッチしながら外の人たちとつながれば、やりたい事業に関する先駆者が誰かしら見つかって教えてもらえるので、助かります。

## 本当に必要な福祉を必要とされる人のところへ

統計によると現在、埼玉県内で40人に1人は精神科に通院した経験があるとされています。また、相談支援センター「すずらん」では、毎月10人前後の新規相談者もあり、相談件数も増えてきています。実際は、「ひだまり」に通所できている人※より、家に引きこもっている人が圧倒的に多いのが現状です。

誰にとっても、自宅を出て行く場所があるかないかは大きな違いがあります。家族のいない日中に一人で家にいるのがつらい人たちが増えているのです。そんな人たちが、もっと気軽に訪れたり、集まったりする場所があったらいいと思っています。

「本当に必要な福祉を必要とされる人のところへ」という考えを軸に、これからも頑張っていきます。

※障がいがあると認定を受け、その後、障害者自立支援法に基づき、本人の意向をふまえ、就労継続支援B型のサービス支給を受けた人。



エコショップひだまり (吉川市吉川1-30-1)

なまずの里福祉会 namazu-hidamari@tbj.t-com.ne.jp  
ひだまり

住所 吉川市南広島2088-1

☎048-991-9595

吉川市障がい者支援センター「すずらん」

住所 吉川市保491-4

☎048-981-8510 (相談専用)

# 吉川市男女共同参画 審議会委員・ワークショップ参加者 募集!

現在、策定を進めている第三次吉川市男女共同参画基本計画等について、市民の皆さんのご意見を広く聴取するため、審議会委員およびワークショップ参加者を募集します。

## 審議会委員

内容 平成二十三年度については、計画案の審議・答申等について、年三回の会議を開催予定。

任期 二年

対象・定員 吉川市在住・在勤の二十歳以上の方・三名程度今回公募枠

応募方法 四月一日から二十五日まで、所定の申込書に応募の動機と必要事項を記入し、直接またはファクス、Eメールで市民参加推進課まで。応募用紙は、市民参加推進課市ホームページ、おあしす、中央公民館、駅前・東部・北部市民サービスセンターで入手できます。☎〇四八(九八二)九六八五、ファクス〇四八(九八二)五六八一、

Shiminsanka2 @ city.yoshikawa.saitama.jp

## ワークショップ参加者

内容 計画案の作成などをテーマにした会議や関係者へのヒアリング、打合せなど、年六回程度の活動を予定。

任期 一年 報酬 なし

対象・定員・応募方法 審議会委員と同じ

## 現行ワークショップ

## メンバーの声



竹内 セツ子さん

「とかく男社会の自治会ですが、女性も活躍できるのでは? 男女共同参画について勉強してみよう。」という思いからメンバーになりました。ワークショップでは、男女ともに活動している先進的な自治会へお話を聞きに行ったり、気軽に意見交換したり、楽しく学ぶことができました。皆さんも、ぜひ、参加してみても?

報告します!

# 「いろいろな国の男女共同参画」 男女共同参画フォーラム

平成23年1月30日、吉川市国際友好協会と吉川市共催のもと開催された男女共同参画フォーラム。その内容について、報告します。



## 市内在住外国人等による パネルディスカッション

日本で生活する中国、韓国、モンゴルの女性による、母国や日本の男女共同参画の状況についてディスカッションでは、こんなお話しが…「日本では、家庭でも職場でも、コミュニケーションが不足していると感じます。

これをして欲しい、それはおかしいなど声に出せば解決することもあるのでは。」「男性の働き過ぎが気になります。家にいる時間がほとんどないほど働いて、そのために家庭での存在感がなくなり、子供にも相手にされないなんて可哀想。」(一部抜粋)

## その他、寸劇・合唱・多国籍料理…

その他、市民劇団「たんぽぽ99」による寸劇と市民コーラスグループ「コール吉川」による合唱は、いずれもプロ顔負けの迫力で観客を圧倒し、お父さんが作った韓国、スーダン、日本の多国籍料理の試食は、大好評につき、あっという間に完売するなど、盛りだくさんの企画がありました。

## 参加者の声

- 初めて参加しましたが、とても素晴らしかったです。国際交流を身近に感じました。
- 家族連れの参加もあり、和やかな雰囲気の中で行われたフォーラムでしたね。特段に男女共同参画の視点と言わずとも「一人ひとりが大切にされるまち」が住みよいまちにつながっていくことを実感しました。国際友好協会の行事にはほとんど参加する機会がありませんでしたが、次の機会にも参加したいと思える企画でした。

## 募集しています!!

- この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。
  - この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。
- いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

**発行** 笑がおの会・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

**問合せ** 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5682 ✉yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

※ 題字については、榎田民子さんのご協力をいただきました。